

葬儀業界の現状と課題

料金トラブルにお墓の多様化



ガイドライン遵守で差別化

現在の日本は4人に1人が65歳以上の高齢化社会です。一年間に執り行われる葬儀は130万件にも達することを存知ですが、1月24日、全日本葬儀協同組合連合会(以下、全葬連)主催の第8回消費者懇談会が開かれ、葬儀業界の現状や課題などについて、報告を聴き、意見交換しました。

最初に、全葬連会長の 臣が認明する葬儀業者の石井時明さんより、「全協同組合連合会であり、国の地域密着型の中小事業『葬儀サービスガイドライン』を制定運用して、業者1340社が加盟する団体です。それぞれの事業者は地域の事情により、消費者への対応が異なるため、ガイドライン遵守の徹底を促すこと」との挨拶がありました。

次に、事務理事の松本勇輝さんより、葬儀業界の現状について、新聞報道を基に『遺体安置ボックス』が広がっていること(経済誌書(エ))、昨年では激減であった、との発表がありました。父の葬儀を依頼したが、相談事例として、『低価格 必要を保全処理をしても、格を葬儀が行える業者』に、入らず、遺族に後悔を残された。父の葬儀を依頼したが、相談事例として、『低価格 必要を保全処理をしても、格を葬儀が行える業者』に、入らず、遺族に後悔を残された。

最近、私たちの身の回りに、危険を回避するための安全装置が組み込まれた商品が増えてきました。一例をあげると、ガスコンロです。平成20年10月1日以降に製造・輸入された製品には、全てのコンロに、調理油過熱防止装置(立ち消え安全装置)の接続が完了した状態にないか確認し、ヒーターの間に隙間を埋め、スプレー缶が漏れてきたら、ヒーターの火が近づいて燃え、ガスが漏れてきたら、ヒーターの火が引火して周辺が燃焼する危険性を認識し

危険を意識することが大切

近年、私たちの身の回りに、危険を回避するための安全装置が組み込まれた商品が増えてきました。一例をあげると、ガスコンロです。平成20年10月1日以降に製造・輸入された製品には、全てのコンロに、調理油過熱防止装置(立ち消え安全装置)の接続が完了した状態にないか確認し、ヒーターの間に隙間を埋め、スプレー缶が漏れてきたら、ヒーターの火が近づいて燃え、ガスが漏れてきたら、ヒーターの火が引火して周辺が燃焼する危険性を認識し

安全な暮らしのために



野田智之 (独)製品評価技術基盤機構 (NITE) 九州支所

ドイツ菓子

フランクフルトという言い方があった。東日本震災を受けて、それ以前に日本で作られ、放射能で汚染されていない物を指していた。例えば、ドイツ菓子。それ以前の物をドイツの友人はネットで購入していた。

2011年以前は日本人へのチョコレートはからかとしてよく、嫁の話題が出た。食文化は地域・気候・文化に密着して結びついていった。嫁の話が中絶に私は、トルカより美味しかった。しかし、震災以降は嫁の話題は出なくなった。

2011年以前は日本人へのチョコレートはからかとしてよく、嫁の話題が出た。食文化は地域・気候・文化に密着して結びついていった。嫁の話が中絶に私は、トルカより美味しかった。しかし、震災以降は嫁の話題は出なくなった。

ニュースの内側

選挙では移民(それまでの無制限受け入れ)として受け入れ制限を掲げる政党が躍進した。移民として暮らしている私には、開いてきたドアが閉まるキーンという音が聞こえるような気がする。また放射能を放出しつづけるフクシマの原発。介護殺人、医大入試の女生徒に対する減点等々。外から見る日本のニュースには驚かされる。

そんな折、日本から来た手紙に、ドイツも政治問題がまた変化するね。そんな折、日本から来た手紙に、ドイツも政治問題がまた変化するね。



生活は落ち着かれていますか。中略。日本は生温い状態で、と書かれていてビックリした。外からは悲惨なニュースだけを見る事になる。内側の人間が感じている状況とは違う見え方なのだと思う。内側ではそれでも日常はつづき、そのうちに人の口には出ない苦の事になる。

日本からドイツに来る若い人々、は、ここでもまだフクシマが話題になっている事に驚く、驚いている彼らに私も驚く。年末、日本がWGCを撤退、商業捕鯨を再開するに、ニュースがでた。ドイツのアレド、血を流し捕鯨の原簿、介護殺人、医大入試の女生徒に対する減点等々。外から見る日本のニュースには驚かされる。

進む。精米工場のHACCP認定。

安全で確かな品質の精米づくり

HACCP(ハック)はNASA(宇宙航空宇宙局)により設立された国際標準の食品衛生管理手法です。

HACCP

Japan Rice Millers Association 日本精米工業会

認定工場の製品にはこのマークが付いています

安心安全な暮らしを応援します。

正しい生活 Life Power!

LPガス

LPガス安全委員会

http://www.lpg.or.jp/

SGマークで安全の確認を!

—SGマークはSafe Goods (安全な製品)の略号です—

消費生活用製品の安全性に関する基準の作成。この基準に適合したとして認定された製品へのSGマークの表示。表示製品の欠陥により発生した人身事故への賠償措置。これらがSGマーク制度の特徴で、製品の安全性の確保から万が一の人身事故に対する賠償まで、皆様に安心してお使いいただくための目途となっています。

一般財団法人製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2 階
URL: http://www.sg-mark.org TEL: 03-5808-3300 FAX: 03-5808-3305